



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 吉水 あつ子 TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,336	10.6	475	51.3	608	74.4	480	37.3
2022年3月期第1四半期	4,825	8.4	314	2.4	348	15.5	350	25.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 544百万円 (37.1%) 2022年3月期第1四半期 397百万円 (9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	17.91	
2022年3月期第1四半期	13.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	25,936	19,908	76.9
2022年3月期	24,745	19,712	79.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 19,951百万円 2022年3月期 19,755百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		13.00	13.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金 11円00銭 記念配当金 2円00銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,100	5.0	1,350	15.9	1,550	19.2	1,150	28.8	42.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	29,748,200 株	2022年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,896,344 株	2022年3月期	2,896,344 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	26,851,856 株	2022年3月期1Q	26,851,941 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されるなど経済活動の回復に向けた動きが見られたものの、ロシア・ウクライナ情勢によって資源・エネルギー価格が上昇したことや、急速に進行した円安、中国における都市封鎖などの影響から、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

精糖業界においては、砂糖消費が減少傾向にあるなか、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ消費が充分には回復できておらず、さらにエネルギー価格の上昇も加わり、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引き続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,336百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益475百万円（同51.3%増）、経常利益608百万円（同74.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は480百万円（同37.3%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 精糖

精糖事業においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、製品の荷動きが活況になりつつありましたが、前年同期比ではグラニュー糖を中心に販売数量は減少いたしました。しかしながら海外原糖相場の上昇を販売価格に反映できたことに伴い、増収となりました。利益面では、原材料コストやエネルギーコストなどの製造コストが大きく上昇したことにより、減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高2,766百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益253百万円（同9.3%減）の増収減益となりました。

#### ② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、機能性表示食品としての国内販売や拡販による海外販売の増加により、前年同期比で増収となりました。タイ国にてイヌリン製造を行っている連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.においては、製造数量の増加により、採算の改善を図ることができました。国内の連結子会社ユニテックフーズ(株)は健康・介護食向けなどで前年同期の売上を上回った結果、増収増益を確保することができました。

以上の結果、機能性素材事業の業績は、売上高2,307百万円（前年同期比16.4%増）、営業利益331百万円（同120.7%増）の増収増益となりました。

#### ③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高143百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益133百万円（同0.1%増）とほぼ前年同期並みの業績でありましたが、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

#### ④ その他食品

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高120百万円（前年同期比63.1%増）、営業利益14百万円（前年同期 営業損失0百万円）と採算性が改善いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4.8%増加し、25,936百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

### ① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ8.9%増加し、12,457百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1.3%増加し、13,478百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

### ② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ26.5%増加し、4,332百万円となりました。これは主に買掛金の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ5.5%増加し、1,696百万円となりました。これは主に長期借入金の増加等によるものであります。

### ③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.0%増加し、19,908百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は、当初計画に対してプラスで推移しております。2022年4月28日付け公表の2023年3月期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大による業績影響を加味して作成しておりますが、再拡大が懸念される現時点においては、いまだ先行き不透明な状況と判断しておりますので、2022年4月28日付け公表の連結業績予想は修正しておりません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,501,513	4,049,040
受取手形、売掛金及び契約資産	2,790,977	2,828,479
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,142,844	2,362,347
仕掛品	198,353	132,369
原材料及び貯蔵品	1,180,097	1,575,246
その他	1,331,510	1,211,449
貸倒引当金	△2,153	△1,444
流動資産合計	11,443,143	12,457,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	355,268	375,308
機械装置及び運搬具（純額）	242,427	254,346
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	100,210	118,821
その他（純額）	98,548	106,750
有形固定資産合計	3,323,890	3,382,661
無形固定資産		
その他	81,773	72,179
無形固定資産合計	81,773	72,179
投資その他の資産		
投資有価証券	7,692,552	7,824,664
長期貸付金	1,913	2,002
関係会社長期貸付金	1,847,300	1,847,300
退職給付に係る資産	54,691	63,964
その他	312,990	299,202
貸倒引当金	△13,185	△13,012
投資その他の資産合計	9,896,262	10,024,120
固定資産合計	13,301,926	13,478,961
資産合計	24,745,069	25,936,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,326,292	2,120,300
短期借入金	1,289,600	1,298,050
未払法人税等	48,607	104,840
賞与引当金	127,160	63,713
その他	633,372	745,131
流動負債合計	3,425,032	4,332,036
固定負債		
長期借入金	276,640	319,450
繰延税金負債	836,530	881,624
資産除去債務	77,843	78,086
その他	416,071	417,112
固定負債合計	1,607,085	1,696,274
負債合計	5,032,117	6,028,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,097,151	2,097,151
利益剰余金	14,773,714	14,905,632
自己株式	△717,366	△717,366
株主資本合計	17,677,959	17,809,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,081,389	2,165,706
為替換算調整勘定	25,898	4,320
退職給付に係る調整累計額	△29,577	△27,942
その他の包括利益累計額合計	2,077,710	2,142,085
非支配株主持分	△42,718	△43,822
純資産合計	19,712,952	19,908,141
負債純資産合計	24,745,069	25,936,451

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,825,153	5,336,690
売上原価	3,698,733	4,007,810
売上総利益	1,126,419	1,328,879
販売費及び一般管理費	812,197	853,476
営業利益	314,222	475,403
営業外収益		
受取利息	7,173	7,035
受取配当金	39,832	51,304
為替差益	-	52,077
持分法による投資利益	17,652	16,125
その他	14,845	10,048
営業外収益合計	79,504	136,591
営業外費用		
支払利息	3,498	3,862
為替差損	41,623	-
その他	8	39
営業外費用合計	45,129	3,901
経常利益	348,597	608,093
税金等調整前四半期純利益	348,597	608,093
法人税、住民税及び事業税	8,468	103,681
法人税等調整額	△50,902	22,425
法人税等合計	△42,434	126,106
四半期純利益	391,031	481,987
非支配株主に帰属する四半期純利益	40,628	994
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,402	480,992

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	391,031	481,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,425	84,316
為替換算調整勘定	35,060	△23,675
退職給付に係る調整額	1,342	1,634
その他の包括利益合計	5,977	62,275
四半期包括利益	397,008	544,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,344	545,366
非支配株主に係る四半期包括利益	42,663	△1,103

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	2,626,794	—	—	—	2,626,794	—	2,626,794
食品添加物	—	39,812	—	—	39,812	—	39,812
機能性食品	—	1,870,008	—	—	1,870,008	—	1,870,008
切花活力剤	—	71,668	—	—	71,668	—	71,668
製パン等	—	—	—	73,573	73,573	—	73,573
顧客との契約から 生じる収益	2,626,794	1,981,489	—	73,573	4,681,858	—	4,681,858
その他の収益	—	—	143,295	—	143,295	—	143,295
外部顧客への売上高	2,626,794	1,981,489	143,295	73,573	4,825,153	—	4,825,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,802	—	1,489	6,713	10,006	△10,006	—
計	2,628,597	1,981,489	144,784	80,287	4,835,159	△10,006	4,825,153
セグメント利益 又は損失(△)	279,281	150,325	133,174	△780	562,000	△247,777	314,222

(注) 1 セグメント利益の調整額△247,777千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	2,766,181	—	—	—	2,766,181	—	2,766,181
食品添加物	—	43,554	—	—	43,554	—	43,554
機能性食品	—	2,193,188	—	—	2,193,188	—	2,193,188
切花活力剤	—	70,396	—	—	70,396	—	70,396
製パン等	—	—	—	120,022	120,022	—	120,022
顧客との契約から 生じる収益	2,766,181	2,307,139	—	120,022	5,193,343	—	5,193,343
その他の収益	—	—	143,347	—	143,347	—	143,347
外部顧客への売上高	2,766,181	2,307,139	143,347	120,022	5,336,690	—	5,336,690
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,874	—	1,499	8,677	13,051	△13,051	—
計	2,769,056	2,307,139	144,846	128,700	5,349,742	△13,051	5,336,690
セグメント利益	253,274	331,819	133,324	14,273	732,693	△257,289	475,403

(注) 1 セグメント利益の調整額△257,289千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。